

2012 年度コレクション展 I

美術をみる 8つのポイント

How to Look at Modern & Contemporary Art



坂田一男《女と植木鉢》1926年頃

兵庫県立美術館では、前身の兵庫県立近代美術館の時代より、40年以上にわたって作品収集を行い、収蔵された作品数は8,000点以上に及びます。当館1階と2階の展示室で開催される「コレクション展」では、年3回の展示替えを行いながら、コレクションの名品をさまざまなテーマに分けて紹介しています。

このたびの「2012年度コレクション展I」では、「美術をみる8つのポイント」と題し、近現代美術を見るうえで役に立つ8つの鑑賞のポイントを問いかけながら、これに沿ってコレクションの主要作品をわかりやすくご覧いただきます。当館のコレクションをいくつかの視点から鑑賞することで、その新たな魅力を再発見いただければ幸いです。

会 期：2012年3月24日（土）～2012年6月24日（日）

休 館 日：毎週月曜日・ただし4月30日（月・振休）は開館、5月1日（火）は休館

開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）

特別展開催中の金・土曜日は午前10時～午後8時（入場は午後7時30分まで）

入 場 料：一般：500（400）〈300〉円／大学生：400（320）〈240〉円／高校生・65歳以上：250（200）〈150〉円／中学生以下無料

※（ ）・・・20名以上の団体料金／〈 〉・・・特別展とのセット料金

※兵庫県立美術館の開館10周年を記念し、特別展「日本の印象派・金山平三」の観覧券（または半券）をお持ちの方は本展を無料でご覧いただけます。

（ただし「日本の印象派・金山平三」展会期中4月7日（土）～5月20日（日）に限る）

会 場：兵庫県立美術館 常設展示室（1階・2階）

主 催：兵庫県立美術館

関連事業：

特別レクチャー

3月25日（日） 午後3時から約1時間

「魅力あるコレクションをもとめて」

講師：河崎晃一（当館 企画・学芸部門マネージャー）

レクチャールーム（定員100名） 参加無料

学芸員によるコレクション入門レクチャー（3回シリーズ）

第1回 4月28日（土） 午後4時から約1時間

「絵のリアルと様々なスタイル」

講師：速水 豊（当館学芸員）

第2回 5月12日（土） 午後4時から約1時間

「絵画の繊細さと大胆さ」

講師：出原 均（当館学芸員）

第3回 6月9日（土） 午後4時から約1時間

「美術はどう考える？」

講師：小林 公（当館学芸員）

いずれもレクチャールームにて（定員100名） 参加無料

こどものイベント

4月28日（土）午前11時～午後2時

「アートであそぼ！」

参加無料、入退場自由

学芸員によるギャラリートーク

4月7日（土）、5月26日（土）午後4時から約30分

常設展示室

講師：速水 豊

参加無料、要観覧券

ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜の午後1時から約45分

エントランスに集合※内容により要観覧券

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

Point 1 いちばんリアルな絵はどれ？（出品予定点数約 10 点）

昔、日本人が西洋の油絵を採り入れたのは、何よりもまずその写実性に感心したからです。でも、どんな絵をリアルに感じるかは、時代や場所、人によって違うかも知れません。あなたにとってどの絵がいちばんリアルでしょうか。



岡田三郎助《萩》1908年

Point 2 イズムを読みとれるか？（出品予定点数約 15 点）

モダンアートでは、写実でない絵のスタイルが次々と生まれました。キュビズム、フォーヴィスム、シュルレアリスム、未来派…。絵だけを見て、どれがどのスタイルか、違いがわかるでしょうか。

Point 3 どんな事件/体験？ どんな記憶/記録？（出品予定点数約 20 点）

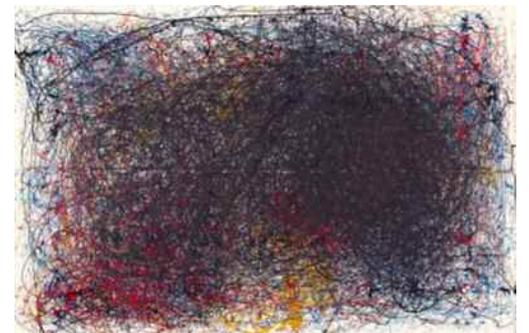
美術は出来事を記録して伝えます。ここではどんな出来事が表わされているでしょうか。でも、これは全部、普通の記録ではありません。作者の体験、見方、感じ方が伝わってくるでしょうか。



阿部合成《見送る人々》1938年

Point 4 どんな動きがかくれている？（出品予定点数約 10 点）

20 世紀後半、画家は、これまでにない大胆な方法で絵を描きました。ここで注目したいのは、画家自身や道具などの大きな動き、運動の跡が、作品の表現になっていることです。画面をじっくり見て、どんな風に作られたのか推理してみましょう。



金山明 《作品》 1957年 © Ryoji Ito

Point 5 どれがいちばんモダニズム絵画？（出品予定点数約 15 点）

モダニズムの絵画は、絵から必要でない要素を取り去り、絵でしかできないことを求めます。そして、絵が平面であることを強く意識しますが、画面からそれが感じられますか。抽象絵画でも、そこには奥行きや動きがあるでしょうか。

Point 6 どんな考えか考えてみる？（出品予定点数約 10 点）

アーティストがいろいろな思考や問いかけをそのまま純粹なかたちで表わした作品があります。それは作品を見る私たちへの問いかけでもあるでしょう。どんな考えがそこにあるのか、アーティストの思考の過程を想像してたどってみましょう。

河口龍夫《DARK BOX 2007》2007 年



Point 7 何のイメージ？（出品予定点数約 10 点）

現代のアーティストは、身のまわりにあるいろいろなイメージ（画像）を作品に取り入れます。どんなイメージでしょうか。そして、もとのイメージをアーティストはどう変えているのでしょうか。

横尾忠則《葬列Ⅱ》1969-1985 年



Point 8 景色をどう切りとるか？（出品予定点数約 20 点）

ここでは絵の画面の端に注目します。どんな風景画もトリミングされたものです。景色をどう切りとっているか。これは、画面のかたち、画家の視点や構図の工夫に関わっています。

桜井忠剛《壺と花》1900 年頃



近・現代彫刻ロダン、ブールデル、マイヨールとその後／安藤忠雄コーナー（出品予定点数約 15 点）

当館の収集の柱のひとつである彫刻から、西洋近・現代作品を展示します。また、当館の設計者である建築家・安藤忠雄の関西でのプロジェクトを模型、写真、映像などで紹介するコーナーを併設しています。

小磯良平記念室／金山平三記念室（出品予定点数約 35 点）

神戸出身のふたりの洋画の巨匠を顕彰するため、それぞれ代表作を展示しています。

小磯良平《斉唱》1941 年



お問い合わせ先: 兵庫県立美術館 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-1-1

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

【企画内容に関すること】 企画担当学芸員 速水 豊、小林 公

TEL:078-262-0909(直) FAX:078-262-0913

【取材・写真提供に関すること】 営業・広報グループ

TEL:078-262-0905(直) FA X:078-262-0903

美術をみる 8 つのポイント

How to Look at Modern & Contemporary Art

営業・広報グループ 宛

F A X (0 7 8) 2 6 2 - 0 9 0 3

ご希望の写真の番号に○をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	坂田一男 《女と植木鉢》 1926 年頃
2	岡田三郎助 《萩》 1908 年
3	阿部合成 《見送る人々》 1938 年
4	金山明 《作品》 1957 年 © Ryoji Ito
5	河口龍夫 《DARK BOX 2007》 2007 年
6	横尾忠則 《葬列Ⅱ》 1969-1985 年
7	桜井忠剛 《壺と花》 1900 年頃
8	小磯良平 《斉唱》 1941 年
※上記図版を媒体掲載されるときには、上記作品名、制作年等を必ず記載してください。	

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		F A X	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名分希望	
メールマガジンをお持ちですか?	はい ・ いいえ		
メーリングリストをお持ちの場合、当館の展覧会・イベント情報等を送信していただく事は可能ですか?	可 ・ 不可		

- ※ 写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。
- ※ 本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。
- ※ 本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。